

吉部の夢プラン

第三章



令和8年3月

吉部地区コミュニティ推進協議会

夢ゆめクラブ吉部の郷

目 次

1	現況と課題	
	(1) 吉部地区の概況	1
	(2) 現状と課題	1
2	地域づくり計画	
	(1) 「吉部の夢プラン」について	2
	(2) 「吉部の夢プラン」活動の成果	3
	(3) 「吉部の夢プラン第二章」 ～新たなステップへ～	4
	(4) 「吉部の夢プラン第二章」 活動の成果	6
	(5) 「吉部の夢プラン第三章」 ～さらなる段階へ～	8
3	推進体制	11

1 現況と課題

(1) 吉部地区の概況

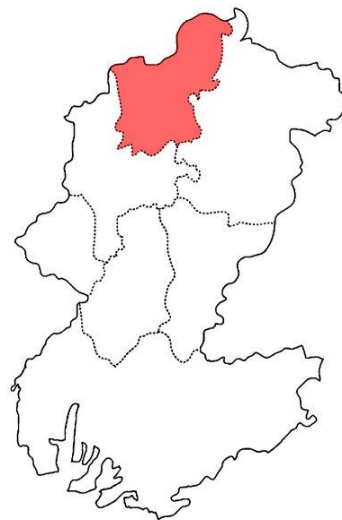
吉部地区は、宇部市の北部に位置し、美祢市、山陽小野田市に隣接し、広さは30.32 km²である。宇部市の最高峰「荒滝山（標高459m）」をはじめとする山々が連なり、山間に広がる田園風景は、古き良き時代を思わせる癒しの空間となっている。

地区内の人口は332世帯、612人で、65歳以上の人数が323人、高齢化率は約52.8%となっている。※

稲作を中心とした農業が活発で、郷土料理として「ゆうれい寿司」と米粉を使用した「竿まんじゅう」が、宇部市の特産品として、各種のイベントで販売されている。

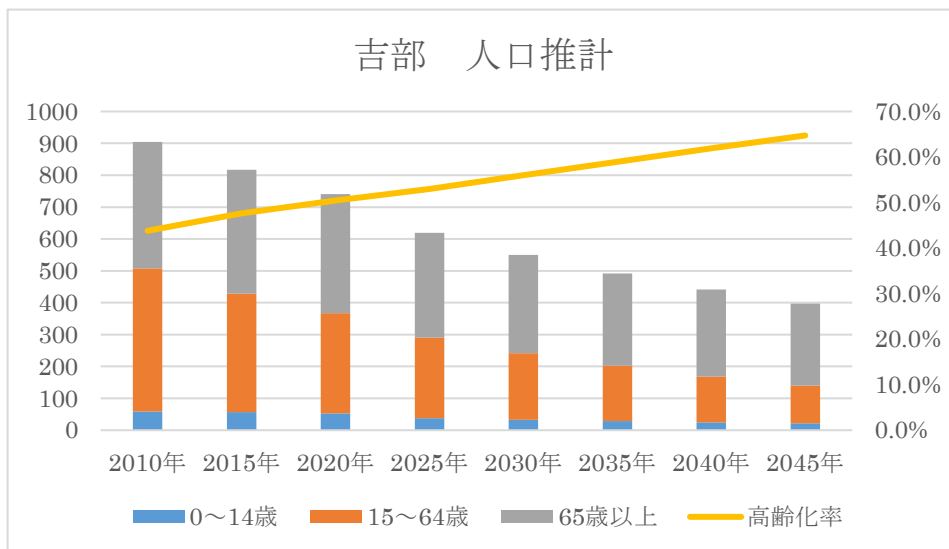
地域の資源として、荒滝山のほか内立山や吉部の大岩郷、夫婦岩がある。吉部八幡宮は弘長元年(1261年)に創建され、3年に1度、地域住民による村芝居が奉納されている。

※2025(令和7)年12月31日現在



(2) 現状と課題

人口の推移を見ると、過去5年間で約120人減少しており、今後も過疎化が進むと予想される。過疎化の進展に伴い空き家が増加しており、その有効活用が課題である。



また今後も、高齢化率は上昇すると思われ、地域における高齢者の見守り体制のあり方を検討する必要がある。中山間地域であり、公共交通機関が不十分であり、通学や医療機関への受診に必要な移動手段の確保が課題である。地域活性化を推進するためには、若い世代が地域活動を担えるような体制づくりも課題といえる。

2 地域づくり計画

(1) 「吉部の夢プラン」について

平成19年度に山口県中山間地域集落ネットワーク形成支援事業モデル地区の認定を受け、地区説明会、吉部小学校児童による「吉部の夢プラン」の絵作成、女性限定の座談会、や中学生以上の吉部住民全員を対象にした住民アンケートの実施、吉部地区を4つのエリアに分けての座談会などを経て、平成21年1月に発足した「吉部の夢を考える会」によってとりまとめを行い、「吉部の夢プラン」が平成21年3月に策定された。

「吉部の夢プラン」は「人でにぎわう夢」「地域資源から生まれる夢」「健やかな『吉部っ子』を育てる夢」「将来を見すえた夢」の4つを柱とし、それぞれに具体的な活動内容を定めた。



(2) 「吉部の夢プラン」活動の成果 (平成21年3月～平成29年3月)

柱	具体的な活動	成果
人でにぎわう夢	人が集まる「イベント」の開催 ・県下有数のホテルを利用	平成21年5月に第1回ほたる祭り開催。以降毎年開催し、ホテル籠づくり体験やホテル鑑賞ルートの案内などを行っており、多くの人で賑わっている。現在はバスツアーも訪れており、平成28年度は1600人の来場があった。
	特産品を活かした取り組み ・ゆうれい寿司、竿まんじゅう ・子どもの考える第3の郷土料理 ・吉部米のブランド化 ・子どもの夢プラン実現へ！	・ゆうれい寿司、竿まんじゅうを市内外のイベントで販売し、体験ワークショップにも取り組んでいる。 ・米まんじゅう「吉部の里」はうべ元気ブランドに認証され、宇部市内でも広く知られるようになった。 ・平成23年度に吉部のお米が「全国米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」において山口県代表に選ばれ、特別優秀賞を受賞した。
地域資源から生まれる夢	トンネルを有効利用 ・ワインセラーを整備 ・桜並木の整備 ・船木鉄道史跡の活用	・旧船木鉄道大柵トンネルは「瀬戸内オリーブ基金」や「宇部市がんばる地域支援助成金」などの助成を受けながら、桜並木の植栽や地盤改良の整備を進めてきた。 現在はトンネルウォーキングやトンネルコンサートが開催されるなど、地域資源として欠かせない存在となっており、交流人口の増加に大きな役割を果たしている。
	大岩郷・夫婦岩の整備 ・遊歩道の整備 ・名所をつなぐウォークラリー	・旧船木鉄道大柵トンネルを経由して、小学校と大岩郷をつなぐウォーキングコースが平成27年度に整備された。 ・ホテルの鑑賞コースも2コース整備されている。
	休耕田を花畑に ・コスモス、菜の花 ・県道から見える目立つ場所	・耕作放棄地からコスモス畑へ当初は4か所整備したが、現在は2か所で取り組んでいる。
健やかなきべつ子を育てる夢	地域に愛着を持ち、自らが情報発信できる「きべつ子」に ・吉部探検隊 ・地域ぐるみでの子ども育成	・学校、地域、ふれあいセンター、放課後子ども教室が連携しながら中心に住民主体で積極的に様々な企画で子どもの育成支援活動を進めている。
将来を見すえた夢	過疎高齢地域への支援 ・ボランティア支援 ・仕組みや組織づくり 若い世代の家族を集める仕組み ・報償金制度・情報発信など	取り組みなし

*平成24年度やまぐち県民活動パワーアップ賞を受賞 (県知事表彰)

(3)「吉部の夢プラン第二章」 ～新たなステップへ～

「吉部の夢プラン」策定から6年が経過して多くの夢が実現されており、地域を取り巻く状況も変化していることから、平成28年度に夢プランの見直しを検討した。

見直しの中で、新たに提案された意見・企画は以下のとおりである。

人でにぎわう夢

- ・イベント時に収益を得る方法を考える
- ・イベントや桜やコスモスの開花情報が市民に伝わるようにする
- ・旧吉部小学校を地域活性化のために利活用する

地域資源から生まれる夢

- ・さくら並木のレベルアップ
(皇帝ダリアやヒマワリを植え、四季折々の花を楽しめるようにする)
- ・トンネルの紅葉を増やす
- ・ウォークラリーコースの活用
- ・コスモス畑の取り組みをレベルアップ(例 花摘み体験)
- ・マラソンコースに菜の花を植える

健やかなきべっ子を育てる夢

- ・特認校制度を活用する(児童数の増を目指して)
- ・「吉部再発見」の取り組み

将来を見すえた夢

- ・有償ボランティアについて検討する(安否確認や買物代行など)
 - ・独居高齢者が集まれる機会をつくる
- 住宅団地に移住してきた方の意見を参考にする

人でにぎわう夢



定期的な「市」の開催
 ・旧吉部小学校の利活用
 ・収益を得る方策を考える

特産品を活かした取り組み
 ・ゆうれい寿司、羊まんじゅう
 ・子どもの考えた第3の郷土料理
 ・おいしい吉部の米をブランド化



人が集まる「イベント」の開催
 ・県下有数のホテルを利用

情報発信への取り組み
 ・イベント情報など地域の魅力を広く情報発信する

地域資源から生まれる夢

将来を見すえた夢

過疎高齢地域への支援
 ・有償ボランティアの取り組み
 ・独居老人が集える機会をつくる

若い世代の家族を集める仕組み
 ・住宅団地に移住してきた方の意見を参考にした取り組み



健やかなきべっ子を育てる夢

地域に愛着を持ち、自らが情報発信できる「きべっ子」に
 ・地域ぐるみでの子ども育成
 ・特認校制度などの活用
 ・吉部再発見の取り組み

トンネルを有効利用
 ・桜並木の整備
 ・紅葉を増やす
 ・四季折々の花を植える

大岩郷・夫婦岩の整備
 ・遊歩道の整備
 ・名所をつなぐウォークラリー

休耕田を花畑に
 ・コスモス、紫の花
 ・県道から見える目立つ場所
 ・体験イベントの開催

4つの夢それぞれに年次計画をつくり、人の輪を広げながらできる事からボチボチすすめていこう！

(4) 「吉部の夢プラン(第二章)」活動の成果 (平成29年4月～令和8年3月)

柱	具体的な活動	成果
人でにぎわう夢	人が集まる「イベント」の開催 ・県下有数のホテルを利用	ほたる祭りは令和6年から実行委員会形式となり、名称も「ほたるまつり&マルシェ」となって吉部地区最大のイベントを今後も継続開催する
	特産品を活かした取り組み ・ゆうれい寿司、竿まんじゅう、吉部まんじゅう ・子どもの考える第3の郷土料理 ・吉部米のブランド化	・ゆうれい寿司は「楠地区生活改善実行グループ連絡協議会」で、製造し各イベントにて販売。 竿まんじゅう・吉部まんじゅうは「おいでませ吉部」で製造し各イベントにて販売。 ・取組なし ・まだブランド化は出来てないが、ライスセンターでは「吉部の米」と言われている。
	定期的な「市」の開催 ・旧吉部小学校の利活用 ・収益が出る方策を考える	・「ほたるまつり&マルシェ」以外はうべの里生徒会がカーフェス等で活用 ・現在イベントでは収益が出ている
	情報発信の取組	令和6年からfaceBook「吉部ゆめ広場」を立上げて、イベントの案内や報告を行っている。
	シンボルマークの設置	令和5年3月に「じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。」が撤去された。同年11月に新たな作品の要望書を提出した。
	地域資源から生まれる夢	トンネルを有効利用 ・桜並木のレベルアップ
大岩郷・夫婦岩の整備		・過去大岩郷の整備は地域の景勝保存会で行っていたが出来なくなり、NPO法人エニュティスポーツつくすのきに委託していた。しかし2年前から業者に委託している。 ・夫婦岩の看板は設置済
休耕田を花畑に ・コスモス畑の取組をレベルアップ ・マラソンコースに菜の花		・令和6年よりコスモス畑は廃止 ・実現できずマラソンは終了
地域道路の整備		うべみちサポートを令和6年度から開始
荒滝山の整備		過去荒滝山の整備は地域の景勝保存会で行っていたが出来なくなり、現在はNPO法人エニュティスポーツつくすのきに依頼している。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">健やかなきべっ子を育てる夢</p>	<p>地域に愛着を持ち、自らが情報発信できる「きべっ子」に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほたるまつりへの参加・協力 竹灯籠・ほたる籠づくり ・「ふるさとの夢」絵画や作文を募集 ・吉部再発見の取り組み ・特認校制度などの活用 ・地域清掃 ・学習館吉部の郷 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉部小児童が受付で資料配布、ほたる籠づくり呼び込み、竹灯籠用の絵を作成 ・キャラクター制作、コンテスト実施 ・大棚トンネル、船木鉄道紹介DVD制作 ・現在該当者は無し ・旧吉部小学校中庭、夢ガーデン等の清掃 ・寄付金を利用してR6年度に吉部小学校内に設置
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">将来を見すえた夢</p>	<p>過疎高齢地域への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアの取組 ・独居高齢者が集える機会をつくる <p>若い世代の家族を集める仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り、買物代行、話し相手、見守り等 ・子ども食堂ふれあいの会で三世代交流を行う ・空き家バンク、宇部の里ハウス（宿泊体験：一度に一団体利用可）

(5)「吉部の夢プラン第三章」 ～さらなる段階へ～

「吉部の夢プラン第二章」策定から9年が経過して多くの夢が実現されており、地域を取り巻く状況も変化していることから、令和7年度に夢プランの見直しを検討した。

見直しの中で、新たに提案された意見・企画は以下のとおりである。

人でにぎわう夢

- ・ほたるまつり&マルシェは「ほたるまつり実行委員会」による開催の定着
- ・村芝居の復活と定着化
- ・中高生に活躍の機会を提供
- ・情報発信の強化
- ・シンボルマークの設置

地域資源から生まれる夢

- ・トンネルの維持管理をコミ団体の共同作業で実施
- ・大岩郷・荒滝山・夢ガーデンの整備強化

健やかなきべっ子を育てる夢

- ・地域と学校の連携強化(各イベントの協力、協働)
- ・学習館「吉部の里」の利用促進
- ・特認校制度の活用促進

将来を見すえた夢

- ・有償ボランティアの強化(スタッフ増員、内容の充実)
- ・高齢者対策(遠隔医療、ライドシェア等)
- ・社協サロンの利用促進
- ・人口減少対策

注) ライドシェア(Ride-share)・・・一般ドライバーが自家用車(白ナンバー)を使い、アプリなどを通じてマッチングした乗客を有料で目的地まで運ぶサービス

利用シーン：公共交通機関の便が少ない地域

タクシーが不足する地域

人のにぎわう夢



人が集まる「イベント」の開催

ほたるまつり&マルシェ開催
村芝居復活

特産品を活かした取り組み

ゆうれい寿司、芋まんじゅう、
吉部まんじゅう



定期的な「市」の開催

旧吉部小学校の利活用

情報発信の取組

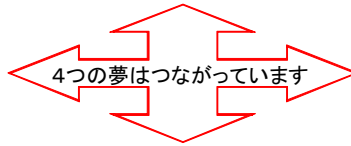
Facebook「吉部ゆめ広場」による
情報発信の強化

シンボルマークの設置

将来を見すえた夢

過疎高齢化地域
支援への

- ・有償ボランティアの強化
(スタッフ増員、内容の充実)
- ・高齢者対策(遠隔医療、
ライドシェア等)
- ・社協サロンの利用促進



健やかなきべっ子を育てる夢

地域に愛着を持ち、
自ら情報発信できる「きべっ子」に
地域と学校の連携強化(各イベントの
協力、協働)
学習館「吉部の郷」の利用促進

地域資源から生まれる夢

トンネルを有効利用

トンネルの維持管理をコミ団体
で分担して実施

大岩郷・荒滝山・
夢ガーデンの整備強化

4つの夢それぞれに年次計画をつくり、地域全体でできる事からポチポチすすめていこう！

ほたるまつり&マルシェ



受付(小中学生)



ほたりにかご作り



変面ショー

夢ガーデン



大畑トンネル草刈り



荒滝山山頂



吉部の夢プラン（第三章）の具体的な活動

人でにぎわう夢	令和8年4月～令和13年3月	担当団体
・ほたるまつり&マルシェは「ほたるまつり実行委員会」による開催の定着	実行委員会が発足して2回実施しているの で、慣れてきたが、今後運用資金の調達につ いて、検討する必要がある。	ほたるまつり実行委員会
・村芝居の復活と定着化	7年以上のブランクがあり、まず復活するこ とが一番だが、今後の開催サイクルやメン バー集め等検討が必要。	文化推進会
・中高生に活躍の機会を提供	吉部小学校との連携は出来ている。楠中学校 や近隣の高校とは昨年のほたるまつりから協 力頂いており、今後頻度を上げたい。	コミュニティ推進協議会 ほたるまつり実行委員会
・情報発信の強化	Facebook「吉部ゆめ広場」は報告を中心に投稿 していたが、今後は行事の開催案内も投稿す る。「かわらばん吉部」を宇部市の地域活動応 援サイト「チイキのチカラ」に掲載する。	コミュニティ推進協議会
・シンボルマークの設置	設置場所を吉部ふれあいセンターに変更して 再提出した。文化振興課で設置作品の検討 中。	コミュニティ推進協議会
地域資源から生まれる夢		
・トンネルの維持管理をコミ 団体の共同作業で実施	令和8年度からコミの構成団体を3グループに 分けて実施予定	コミュニティ推進協議会構 成団体
・大岩郷・荒滝山・夢ガーデン の整備強化	大岩郷・荒滝山の整備 学びの森くすのきから発注して年2回の整備を 行っているが、回数増加を依頼する。 夢ガーデンの整備 夢ゆめクラブが中心に行っているが、広く地 域に募集して参加者を増やす	コミュニティ推進協議会 夢ゆめクラブ
健やかなきべっ子を育てる夢		
・地域と学校の連携強化(各イ ベントの協力、協働)	吉部小学校、社教推、学運協の連携して活動	社会教育推進委員会
・学習館「吉部の里」の利用 促進	地域にアピール 展示リスト入手（置き場別に学びの森くすの きが作成）	コミュニティ推進協議会
・特認校の活用促進	児童数増加のため、各学校に働きかけ	コミュニティ推進協議会
将来を見すえた夢		
・有償ボランティアの強化 (スタッフ増員、内容の充実)	スタッフの高齢化で増員は必須 サポートメニューの検討	ふれあいサポート
・高齢者対策(遠隔医療、 ライドシェア等)	小野地区が先行しており、吉部でも検討	自治会連合会
・社協サロンの利用促進	令和7年度に2つのサロンが新規活動を開始 し、全部で4つになった。地域にアピールし て参加者増加を図る。	楠地区社会福祉協議会
・人口減少対策	空き家バンク、宇部の里ハウスの活用促進	活性化推進協議会

3 「吉部の夢プラン第三章」 推進体制

過去は「吉部の夢プラン」を実現するため、「夢ゆめクラブ吉部の郷」が活動をしてきたが、今後は「夢ゆめクラブ吉部の郷」を中核団体として吉部地区コミュニティ推進協議会の構成団体で協働体制を作り、活動を継続する。

